



2024年 10月

病児保育だより



厳しい暑さも和らぎ少しずつ過ごしやすい日が増えてきました。

昼夜の気温差も大きく体調を崩しやすい時期でもあります。三食しっかり食べて十分な睡眠もとり、体調管理に気を付けると共に、手洗いうがい等感染症対策もしっかり行っていきましょう。

マイコプラズマ感染症

発熱や頭痛、全身倦怠感など一般的な風症状があらわれた後、3~5日ほど経ってから咳が出始めることが一般的です。

咳は時間がたつにつれてだんだん強くなり、解熱してから3~4週間ほど続くこともあります。

発疹を伴ったり、幼児は鼻水が出たりすることで中耳炎をおこすこともあります。

子どもは軽症のまま治ることが多いとされていますが、肺炎を起こして重症化することもあるため、注意して経過をみるのが大切です。

★おもな症状

- ・発熱(38℃以上)
- ・のどの痛み
- ・声のかすれ
- ・咳
- ・頭痛
- ・腹痛
- ・嘔吐
- ・下痢
- ・倦怠感

★潜伏期間・感染経路

潜伏期間は、1~3週間程度。

飛沫感染(家族内感染や再感染も多くみられます)

★治療法

多くの場合では抗生剤による治療によって、または自然経過により治癒します。

★出席停止のめやす

発熱や激しい咳が治まっていること。

このような症状は
もう一度受診を！！

高熱が続く、激しい咳が続く、元気がない

★対処法★

- ・脱水を防ぐ水分補給、栄養補給、休養
- ・咳を和らげるための加湿

◆9月にご利用された方の病気◆

- ・マイコプラズマ
- ・気管支炎
- ・アデノウイルス
- ・急性胃腸炎
- ・インフルエンザA
- ・咽頭炎

いけだ小児科

お気軽にお問い合わせください

☎080-8587-6253

